

「林業教室」を開催しました！
(香美市立香北中学校、香美森林組合)

10月17日(火)、香美市立香北中学校で「林業教室」が開催され、1年生が林業について学びました。

講師は香美森林組合の田辺さん。今回は授業の3時限目と4時限目に拡大枠で実施しました。

まず最初に、林業とはどのようなものか？を知るための「森林と林業」と題した説明動画を視聴しました。動画では、山での作業の効率化を図るためハーベスタなどの高性能林業機械を使用している様子や、伐採前に詳細な計画や見積などを丁寧に森林所有者に説明する取組などが紹介されました。間伐を行わないと木は細く根は浅くなり、土砂崩れがおきやすくなることなどについても解説がありました。

田辺さんの授業では、林業にはたくさんの工程があることをわかりやすいイラストで解説いただき、「林業は循環産業」であること、長いスパンで見る産業であることを学びました。香美市にはこれらの素材生産から販売、加工まで全ての工程に関わる会社が揃っていることが紹介されると、生徒たちは関心している様子でした。

また、チェーンソーの仕組みと使用説明、実演でエンジンをかけるのを間近で見ることができました。刃は秒速20回転で危険であることや非常に大きな音が出ること、排気ガスのおおいを知り、使用する場合は特殊防護服を着て安全に作業することの大切さも教わりました。

このほか、「森林のはたらき」について、木材を生産する、土砂の流出を防ぐ、水を育み・洪水を防ぐ、山崩れを防ぐ、地球の温暖化を防ぐ等々の力があり、適切に管理され健康な森林であるほどそのはたらきが大きくなることも学習しました。そして、森林率や人工林率の全国・高知県・香美市の比較や、手入れが行き届かない森林が多くあることなどの現状、その要因等課題についても知りました。

授業の最後には、田辺さんが林業を志してから今までの人生を少し紹介され、人生での出会いや人とのつながりを大切にしていってほしい、との生徒たちへの応援メッセージをいただきました。

授業は盛りだくさんの内容でしたが、生徒たちは最後まで集中力を切らさず、よく学びよく質問し、楽しく素敵な授業でした！



